

事務事業名	木次総合センター庁舎管理事業		所属部	木次総合センター	所属課	自治振興課
総合計画体系	政策名	〈I〉みんなで築くまち〈協働・行政経営〉		所属G	自治振興グループ	課長名 板垣 健一
	施策名	〈05〉時代にあった行政サービスの実現		担当者名	野津 典子	電話番号 0854-40-1080 (内線) 4263
	目的・対象	A)市民 B)行政機能	意図 公平で効率的なサービスを受ける(提供する)。	予算科目	会計 0:110	大事業名 市有施設等管理事業
	基本事業	〈012〉業務と組織機構の効率化			大事業 0:3	中事業 0:530
目的・対象	行政機能	意図 効率的な組織機構で効果的な行政サービスを提供する。				

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
・木次総合センター庁舎施設 ・雲南市民	施設を良好な状態で維持する。 来庁者の利便性の向上を図るとともに、快適な職場環境の整備を図る。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H16 年度～ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )	木次総合センター庁舎等(庁舎、駐車場)の維持管理。 ①庁舎及び設備等の管理委託や賃借契約。 ②光熱水費、契約に基づく委託料や賃借料の支払い。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R4年度実績(R4年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
木次総合センター庁舎等(庁舎、駐車場)の維持管理。①庁舎及び設備等の管理委託や賃借契約。②光熱水費、契約に基づく委託料や賃借料の支払い。③庁舎自動ドア修繕、庁舎空調機更新工事、庁舎高圧電路改修工事	木次健康福祉センターとして、成人健診や乳幼児健診、子育て相談等での来庁者も多く、また、新市いきいき会の会議室利用についてルール化を図っている。 木次総合センターとして窓口が狭隘であったことから、カウンターの拡張工事及び待合スペースの環境を平成28年度に整備した。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(計画)
ア 庁舎に関する苦情件数	件	0	0	0	0
イ					
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R4年度決算)		② コストの推移		単位	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(計画)
需用費(光熱水費等) 3,229千円	財源内訳	国庫支出金	千円					
役員費 79千円		県支出金	千円					
委託料(機械警備、エレベーター保守等) 1,257千円		地方債	千円			7,700	17,500	
使用料及び賃借料 272千円		その他	千円	72	53	34	48	
工事請負費 9,068千円		一般財源	千円	4,565	4,187	6,378	6,672	
備品購入費 85千円		事業費計	千円	4,637	4,240	14,112	24,220	
負担金補助及び交付金 122千円 合計 14,112千円								
【地方債】合併特別債								

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	地域の利用しやすい拠点施設として庁舎自動ドア修繕・庁舎空調機更新工事、庁舎高圧電路改修工事を実施した。
② 事業実施するうえでの課題	令和4年度は燃料高騰等の影響が大きかった。また、施設修繕費は増加が懸念されるため、今後も、良好な施設維持管理に努める。
③ 課題解決に向けた改革改善等	地域自主組織新市いきいき会が常駐し、新市地区の住民が交流センターとして活用している。また、健康福祉センターとして乳幼児・成人健診での来庁舎も多い。来庁舎の利便性の向上が図れるよう施設を良好な状態で維持する。